

## 低学年：課題と授業改善案

国語	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滑らかに音読することが難しい児童がいるので、毎日5分程度音読の時間を設け、読む力の向上を図った。</li> <li>・平仮名・片仮名や特殊音節を正しく使えない児童がいたので、短作文や聞き書きなど書く機会を多くして慣れさせた。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読カードに日常的に取り組み、内容を考えながら読むことができる児童が増えた。</li> <li>・促音・拗音が正しく使える児童が増えたが、カタカナの定着や助詞の使い方には課題が残る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○滑らかに音読することが難しい児童がいる。</li> <li>○文章を読んで内容を理解したり、内容に関する質問に答えたりする力に差が見られる。</li> <li>○主語と述語がねじれた文やつなぎ言葉のない分かりにくい文章を書く児童がいる。</li> <li>○平仮名、片仮名を正しく読んだり書いたり、促音や拗音を正しく使うことができない児童がいる。</li> <li>○質問に対する的確な答えを話すことができていないことがある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎朝学習や国語の時間など、毎日5分程度音読の時間を設けると共に、多層指導モデルMIMを授業に取り入れる。</li> <li>○文章をよく読み、大事な言葉や繰り返し使われる表現などに着目させ、大事な言葉や文を書き抜く指導を取り入れる。</li> <li>○短作文や日記など書く機会を多くして、正しい文字や文章の書き慣れをする。</li> <li>○視写・聞き書きなど、正しい表記を意識できる指導を取り入れる。</li> <li>○質問の内容を具体的にし、分かりにくい発言に対しては、教師が整理をして言い直しができるようにする。</li> </ul>

算数	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算ひき算の演算決定が難しい児童がいるため、「あわせて」「みんなで」「ちがいは」などのキーワードに線を引き、題意を意識させた。</li> <li>・補数関係の理解が不十分で計算につまづく児童がいるため、算数ブロックなどの具体物を用いて数のイメージを持たせた。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2桁の繰り上がり・下がりのある計算のやり方は理解できたがつまづくことがある。正確に計算する力が弱い面がある。</li> <li>・ものさしを使って、長さを読み取る、線を引くなどの作業が注意深くできず、ミスすることがある。</li> <li>・キーワードに着目して文章問題から立式に必要な情報を読み取ることができるようになってきたが、引き算の問題での間違いがまだ見られる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10までのたし算ひき算の計算に、指や算数ブロックが必要な児童がいる。</li> <li>○文章問題で、引き算たし算の演算決定が難しい児童が多い。</li> <li>○計算の基礎となる、通常暗算で行う20以下の足し算引き算やかけ算九九をミスなく速くできるようにする。</li> <li>○まだ、定規の使い方に慣れておらず正確に使えていない。</li> <li>○はっきりとしたキーワードが問題文にない時に、文章問題から立式に必要な情報を読み取ることができていない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎たし算・ひき算の演算決定のキーワード「あわせて」「みんなで」「ちがいは」などの言葉に線を引き、題意を明確にして問題に取り組ませる。</li> <li>○フラッシュカードやブロックを使い1～20までの数や5や10の補数について慣れさせ正確に答えられるようにする。</li> <li>◎計算の小テストに継続して取り組ませ、正確な計算力をつける。</li> <li>○数字の付いていない竹の定規を授業で今後も使わせたり、算数の学習だけでなく学校生活の中で定規を使って線を引く活動を増やしたりして、正しく使えるようにする。</li> <li>○立式に必要な情報を文章から読み取りにくい問題では、絵・図や言葉の式等で一緒に確認し、正しく立式できるようにする。</li> </ul>

生活	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設を大切にしたり、安全に気を付けたりしていない児童がいるので、みんなで使う場所の利用の仕方に気付けさせ、学習後、その後の利用の仕方について振り返りの時間を設けるようにした。</li> <li>・アサガオのお世話に差があった。そこで目的をもって植物を育てるために、リース作りや種をプレゼントすることなどを事前に伝え、朝顔を大切に育てようとする気持ちを育てる。また、小動物を教室で飼い、常に目に触れるようにすることで愛情や責任感をもたせられるようにした。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友達や先生や地域の様々な人々への親しみの気持ちは育ってきたが、支えてきていることへの感謝の気持ちが希薄だったり、適切な態度がとれなかったりする児童がいる。</li> <li>・植物の世話や観察など自分から継続的に取り組める児童もいるが、興味が持続せず世話ができない児童がいる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達や先生、地域の様々な人々への支えてきていることへの感謝の気持ちや、適切な態度への気づきが十分でない。</li> <li>○植物や生き物の命の大切さが十分に理解できていない児童がいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教科書の写真や、教師が教材見本を提示することでイメージを持たせ、楽しんで活動できるようにする。</li> <li>○適宜指導や声かけをして、継続して植物や生き物の世話や観察に取り組ませることにより、その変化や可愛さや面白さを感じさせることで、命の大切さに気付かせる。</li> <li>○町探検で地域の人と触れ合ったり、学習発表会に向けて、これまでの自分の歩みを振り返ったりする場を設定することで、支えてきていることへの感謝の気持ちやそれにふさわしい態度を考えさせる。</li> </ul>

音楽	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月毎に季節や行事の歌の常時活動を取り入れることで、自信をもって歌ったり、意欲的に歌ったりする児童が増えた。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの奏法、指使いに課題が残る児童がいる。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月毎に季節や行事の歌の常時活動を取り入れることで、自信をもって歌ったり、意欲的に歌う児童が増えた。</li> <li>・楽しんで活動できるようになってきたが、伝える意識をもって歌ったり演奏したりする力が弱い。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○季節の歌や校歌や運動会の歌などの行事の歌に親しみ、歌詞の表す様子や歌のリズムを楽しみながら歌うことができる。</li> <li>○鍵盤ハーモニカや基礎的なリズム打楽器の奏法を知り、楽器の音色に親しむ。</li> <li>○鍵盤ハーモニカの正しい奏法を覚え、伴奏や友達の音に合わせて演奏することができる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎少人数でのグループ奏や異学年交流活動、学年合同授業を取り入れて、互いに聴き合う活動を増やし、伝えるための表現を意識させる。</li> <li>○伴奏やメロノーム、CDを使用したリレー奏や、手拍子でのリズム遊びを取り入れ、拍の流れを感じ取りながら歌ったり演奏したりできるようにする。</li> <li>○合奏活動はわかりやすいルールを設定し、音を合わせることの心地よさを体感させる。</li> <li>○鍵盤ハーモニカやリズム打楽器の奏法は、ICT機器を活用する。</li> </ul>

図工	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてを把握せずに作業に取りかかってしまう児童がいるので、イメージづくりの手がかりを提示して指導した。</li> <li>・材料や用具の使い方が十分に身に付いていない児童がいるので、十分に使い方を指導し慣れさせる時間を作った。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色鉛筆や絵の具、はさみなどの基本的な使い方を習得することができた。</li> <li>・材料や用具の特徴を考え、取捨選択して作品に取り入れることに課題が残る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業を楽しむだけになってしまうことがあり、作品を最後まで丁寧に仕上げることができない児童がいる。</li> <li>○材料や用具の使い方が十分に身に付いていない児童がいる。</li> <li>○何を作ったらいいか、作り始めるまでに時間や相談が必要な児童がいる。</li> <li>○材料の特性や用具の効果的な利用方法が身に付いていない児童がいる。</li> <li>○積極的に取り組んでいる児童がほとんどであるが、活動のペースに差がみられる。</li> <li>○作品完成まで集中力を維持できない傾向がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習のめあてを把握して、イメージをもって作業を始めさせる。</li> <li>○作り始めの段階で話し合いの時間を設け、意見を共有したり広げることによって、豊かな発想を促す。</li> <li>○より良い作品にするための工夫の方法を考えさせたり指導したりして、概ね作品を仕上げられるような活動時間をとる。</li> <li>○参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用方法をわかりやすく提示する。</li> <li>○個別指導を徹底し、作品制作が遅れがちな児童をサポートする。</li> <li>○短時間で完成できる題材も取り入れながら、完成する喜びを味わわせる。</li> </ul>

体育	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識から消極的になる児童に、カードなどを用いて、スモールステップを設定し達成感を味わうことができるようにした。</li> <li>・投げる、蹴る、捕る、握るなど、基本的な動作が身につけていない児童がいる。逆さ感覚や腕支持感覚を養うために、固定遊具を使った運動遊びやマット遊びの活動を取り入れた。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が意欲的に取り組めたが、自分の苦手な学習に関しては進んで取り組みたがらない児童も見られた。</li> <li>・進んで練習に取り組み、逆上がりなど技能の向上が見られる児童もいたが、鉄棒やマット運動など、柔軟性や回転感覚に乏しく、うまくできない児童も見られた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の苦手な学習に関しては、あまり意欲的に取り組めていないことがある。</li> <li>○固定施設を使った運動やスポーツテストの上体起こしなど、自分の体を起こしたり支えたりする技能や柔軟性に課題が見られる。</li> <li>○ゲーム・ボール運動において、相手がとりやすいボールを投げたり、確実にボールをキャッチしたりする技術が十分ではない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業前・導入にストレッチをし、柔軟性が高められる運動を取り入れ、自分を支えたり、友達を運んだりする力試しの運動を十分行えるようにする。</li> <li>○適宜振り返りをさせ、がんばったところや楽しかったことを確かめさせ、体育への意欲が持続できるようにする。</li> <li>○学習の中で、的当てのボール遊びや攻守交代のベースボール型ゲーム、ゴール型ゲームなどを多く取り入れる。</li> <li>○動きを言語化して体の動き方を意識することで固有感覚を高め、苦手意識を持つ児童も積極的に活動することができるようにする。</li> </ul>